

# 農 研 速 報

2021 年 2 月 24 日 発行  
茨城県農業総合センター農業研究所水田利用研究室  
〒301-0816 茨城県龍ヶ崎市大徳町 3974  
TEL:0297-62-0206 FAX:0297-64-0667

## 麦の生育状況(2月18日現在、龍ヶ崎市)

地 域 名	麦 種 (品種)	生育ステージ	対平年遅速 (予測茎立期)	生育(作柄・品質)概況	備 考
茨城県 (龍ヶ崎市)	11 月 10 日播種 小麦 (さとのそら)	幼穂形成始期	7 日遅い	<p>龍ヶ崎市における、1 月第 6 半旬～2 月第 3 半旬の気象と麦類の生育概況は、下記のとおりである。</p> <p>【気象】 気 温: 平均気温は、平年より 1.5℃高かった(図 1)。 降 水 量: 平年比 304%と平年よりかなり多かった(図 2)。 日照時間: 平年比 106%と平年並であった(図 3)。</p> <p>【生育】 生育速度: 予測茎立期は、11 月 10 日播種の小麦、六条大麦、二条大麦は平年より 4 日～8 日遅い。裸麦は前年より 16 日遅い。11 月 20 日播種の小麦は 1 日遅い(表 1)。</p> <p>草 丈: 11 月 10 日播種の小麦、大麦はやや短い～かなり短かった。11 月 20 日播種の小麦は平年並であった(表 2)。</p> <p>茎 数: 11 月 10 日播種の小麦はやや多かった。六条大麦、二条大麦は平年並～少なかった。裸麦は前年よりやや多かった。11 月 20 日播種の小麦は平年並であった(表 2)。</p> <p>葉 色: 11 月 10 日播種の小麦、大麦は平年並～濃かった。11 月 20 日播種の小麦は平年並であった(表 2)。</p> <p>写真 1、2 に 2 月 18 日現在の所内麦類の生育状況を示した。 【注釈】 1)対平年遅速は、主稈長から予測される茎立期をもとに算出した。</p>	<p>適期に効果的な追肥ができるよう、準備を始める。</p> <p>①生育量が不足している場合は、<b>収量向上</b>効果の高い「<b>茎立期</b>」に追肥する。</p> <p>②生育量が確保できている場合は、<b>タンパク</b>や<b>千粒重向上</b>効果の高い「<b>出穂 15 日前(小麦)</b>」「<b>出穂期(六条大麦)</b>」に追肥する。</p> <p>③生育量が過剰な場合は原則無追肥とする。</p> <p>生育量は草丈(cm)×茎数(本/m<sup>2</sup>)を示す。 小麦は 40,000 ～ 60,000、六条大麦は 30,000 以上が適正值。</p>
	六条大麦 (カシマムギ)	節間伸長開始期	5 日遅い		
	(カシマゴール)	節間伸長開始期	8 日遅い		
	二条大麦 (ミカモゴールドン)	節間伸長開始期	4 日遅い		
	裸麦 (キラリモチ)	節間伸長開始期	16 日遅い		
	11 月 20 日播種 小麦 (さとのそら)	幼穂形成始期	1 日遅い		

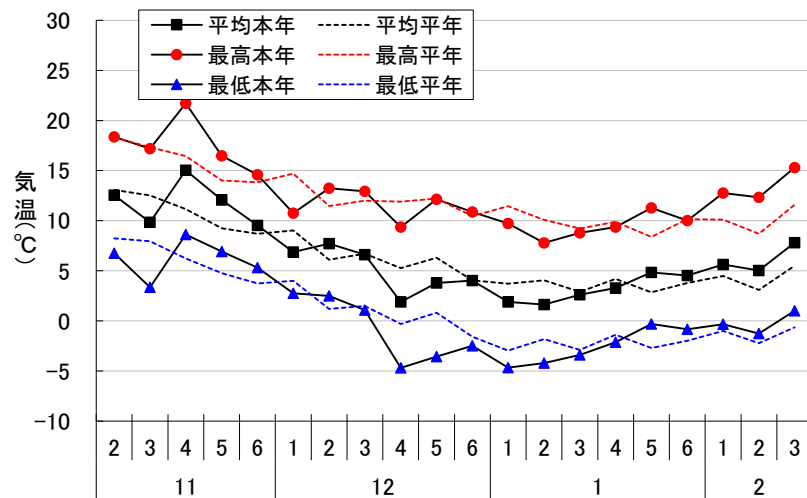


図1 半旬別最高・最低・平均気温の推移 (月・半旬)  
注) 水戸地方気象台龍ヶ崎観測所アメダスデータより作成

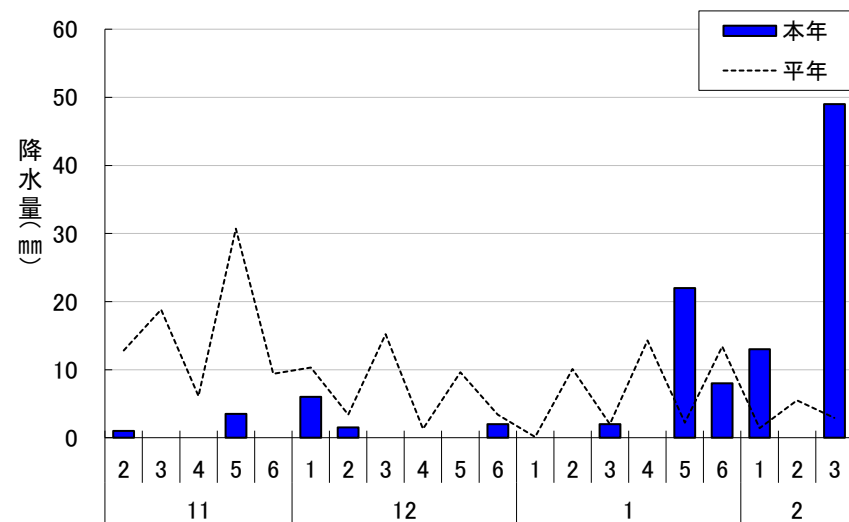


図2 半旬別降水量の推移 (月・半旬)  
注) 水戸地方気象台龍ヶ崎観測所アメダスデータより作成

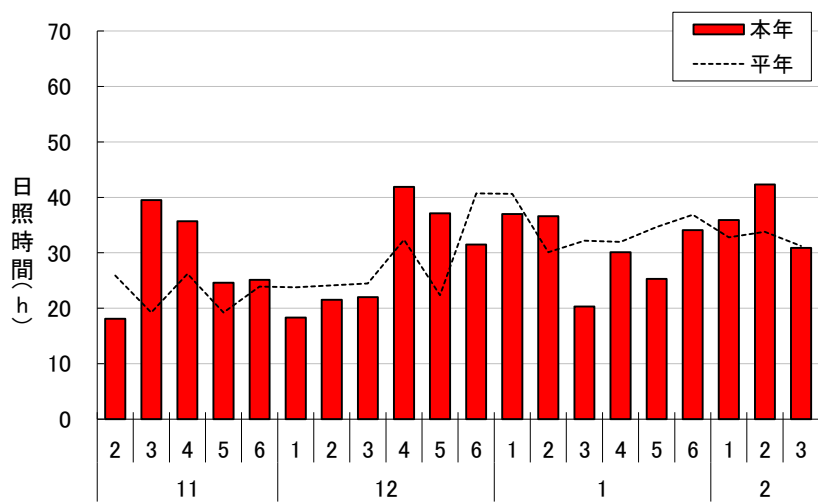


図3 半旬別日照時間の推移 (月・半旬)  
注) 水戸地方気象台龍ヶ崎観測所アメダスデータより作成

表1 主稈長から予測した茎立期

2021年2月18日現在

播種期 (月、日)	麦 種	品種名	予測茎立期					平年差 (日)
			低温 (月、日)	やや低温 (月、日)	平年並 (月、日)	やや高温 (月、日)	高温 (月、日)	
11.10	小麦	さとのそら	3.29	3.24	3.20	3.17	3.14	7
	六条大麦	カシマムギ	3.18	3.13	3.10	3.7	3.5	5
		カシマゴール	3.16	3.11	3.8	3.6	3.4	8
	二条大麦	ミカモゴールデン	3.1	2.16	2.24	2.23	2.23	4
	裸麦	キラリモチ	3.10	3.7	3.5	3.2	3.1	16
11.20	小麦	さとのそら	3.29	3.23	3.29	3.17	3.14	1

## 【注釈】

- 1) 低温・やや低温・平年並・やや高温・高温は、調査日以降の平均気温が平年値より $-2^{\circ}\text{C}$ 、 $-1^{\circ}\text{C}$ 、 $\pm 0^{\circ}\text{C}$ 、 $+1^{\circ}\text{C}$ 、 $+2^{\circ}\text{C}$ で推移した場合を示す。
- 2) 平年差は、主稈長の平年値から算出した茎立期の平年値と現時点の主稈長から算出した予測茎立期または確定値との差を示す。
- 3) 11月10日播種の「キラリモチ」については前年差を示す。
- 4) 茎立期の予測は予測モデルを用いた。詳細は農業研究所ホームページを参照。

参考URL：<http://www.pref.ibaraki.jp/nourinsuisan/noken/mugikukidachisyussuiyosoku/mugikukidachisyussuiyosoku.html>

表2 輪換畑における麦類の生育（龍ヶ崎市、水田利用研究室）

2021年2月18日現在

播種期 (月、日)	麦 種	品種名	主稈葉数			主稈長			主稈幼穂長			草丈			茎数			葉色		
			本年値 (枚)	平年値 (枚)	平年差 (枚)	本年値 (mm)	平年値 (mm)	平年比 (%)	本年値 (mm)	平年値 (mm)	平年比 (%)	本年値 (cm)	平年値 (cm)	平年比 (%)	本年値 (本/m <sup>2</sup> )	平年値 (本/m <sup>2</sup> )	平年比 (%)	本年値 (SPAD)	平年値 (SPAD)	平年差
11.10	小麦	さとのそら	8.3	7.6	1.3	3.6	5.8	62	1.0	1.4	71	13.8	16.1	85	2,503	2,168	115	47.6	48.1	-0.5
	六条大麦	カシマムギ	6.9	7.3	-1.6	6.2	8.5	73	3.0	3.2	94	12.0	15.4	78	1,210	1,411	86	51.4	47.1	4.3
		カシマゴール	7.8	7.9	-0.1	6.1	10.8	56	3.3	3.4	97	14.7	17.4	85	1,553	1,917	81	39.8	39.5	0.3
	二条大麦	ミカモゴールデン	7.3	7.5	-0.2	11.4	15.2	75	3.8	3.9	97	18.1	20.7	87	1,957	1,917	102	43.0	42.8	0.2
	裸麦	キラリモチ	7.5	9.2	-1.7	6.2	18.1	34	2.8	5.2	54	14.5	22.7	64	1,690	1,507	112	51.7	47.4	4.3
11.20	小麦	さとのそら	6.5	6.1	0.4	3.7	4.1	90	0.5	0.9	56	10.4	11.6	89	1,287	1,355	95	52.2	52.0	0.2

## 【耕種概要】

- 1) 圃場来歴：転換1年目（前作水稻）
- 2) 播種期：平年の播種期は11月10日、20日
- 3) 播種量：（小麦・六条）0.8kg/a、（二条）1.0kg/a
- 4) 播種様式：条間30cm、ドリル播き（シーダーテープによる）
- 5) 基肥：（小麦） $\text{N}-\text{P}_2\text{O}_5-\text{K}_2\text{O}=1.0-1.5-1.3\text{kg/a}$ 、（六条・二条） $\text{N}-\text{P}_2\text{O}_5-\text{K}_2\text{O}=0.8-1.2-1.1\text{kg/a}$
- 6) 麦踏み：2020年12月25日、2021年1月18日、2月1日実施。

## 【平年値】

2015年～2019年播種の5カ年の平均値、キラリモチは前年値



写真1 所内小麦の生育状況(左 11月10日播種、右 11月20日播種 2021年2月18日撮影)



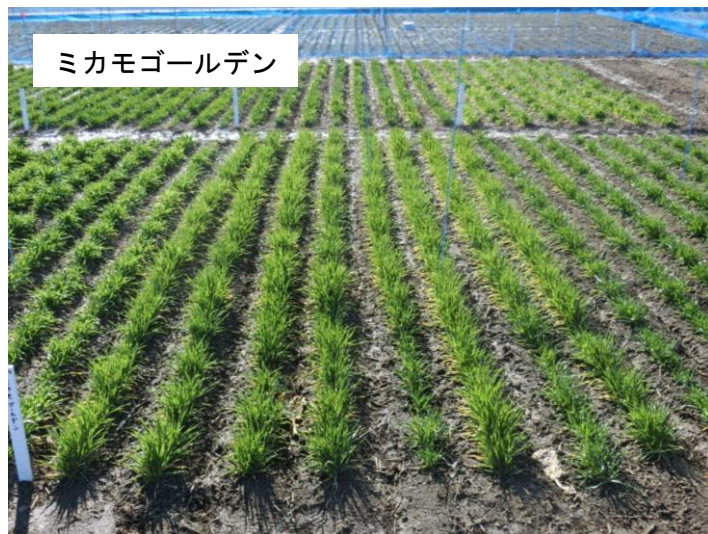
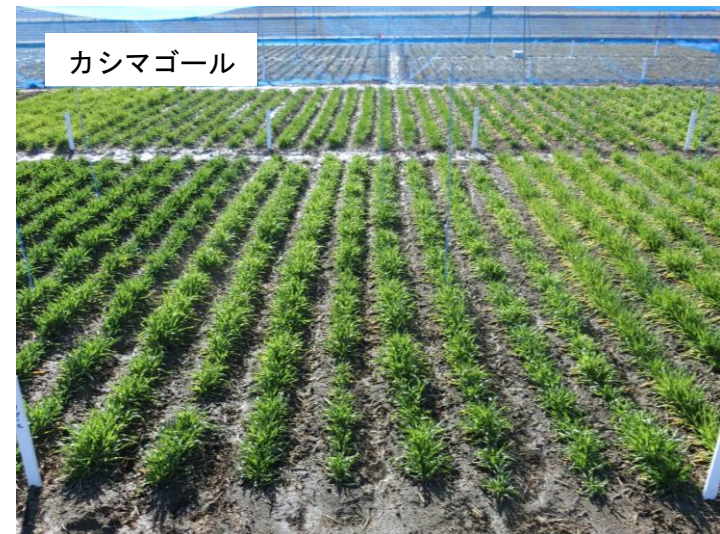
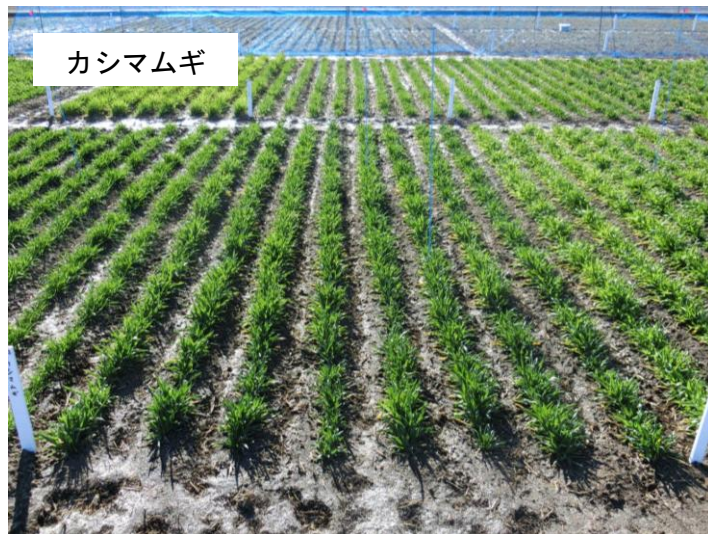


写真2 所内大麦の生育状況(左上 カシマムギ、右上 カシマゴール、左下 ミカモゴールデン 右下 キラリモチ 全て11月10日播種 2021年2月18日撮影)